

## 平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・准教授
氏名 Name	坂東照啓
専門分野 Academic Field	ポルトガル語・ブラジル文化

### 平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ポルトガル語統語論的研究				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)					
ポルトガル語品詞論・文型論について考察記述を進める。					
<p>1. ポルトガル語の品詞の分類と品詞の名称に関しては、ラテン語文法の品詞分類と名称が大枠として現代ポルトガル語にも使用されつづけている。しかしながら、ラテン語からは、言語的特徴、文法の枠組も変化しており、ラテン語の品詞分類をポルトガル語に適用し続けることは適切とは考えられない。そこで、現代のポルトガル語に対する合理的な品詞の設定、分類を行うため、詳細な語の分類を進めていく。</p> <p>2. 客観的な基準に基づくポルトガル語の詳細な文型の体系化を試みる。文型間の関係の明示を目指し、派生的な文型について考察を加える。ポルトガル語の文型記述の基礎となる動詞語法の考察を行い、動詞型の分類から結合価の考え方も採り入れ文型記述を進める。</p> <p>さらに、学習文法への応用を視野に、文型を提示するポルトガル語学習の利点と問題点あるいはまた限界点を認識しながら、構文理解を助ける提示方法についても考える。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ポルトガル 語学	宗教社会学	ブラジル地域研 究	社会福祉学	外国語教育
キーワード Keywords*2	ポルトガル語	日系宗教	ブラジル文化	高齢者福祉	教育文法